

健康保険組合 2018年度決算のお知らせ

2019年6月25日開催の第166回健康保険組合 組合会にて、2018年度決算が承認されましたので概要をお知らせいたします。

当健康保険組合では、会社と協力して健康経営を推進し、健康増進サービス「KenCoM」等を通して、加入者の健康増進や重症化予防、軽運動の促進を図り、ウォーキングイベント「みんなで歩活」、家族健診事業、特定保健指導の実施や、ジェネリック医薬品の利用促進、運営経費の効率化等に努めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 決算概要

a. 健康保険

国民医療費の慢性的な増加や、高齢者医療への拠出金負担の増加等から今後も厳しい財政状況の見通しとなっております。

収入合計は、前年比1.4%減少の約202億円となりました。

支出合計は、保険給付が約118億円（前年比△0.6%）となったものの、納付金・支援金が約64億円（前年比+4.8%）と増加したこともあり、前年比1.4%増加の約194億円となりました。

その結果、総合収支は約7.6億円の黒字となりました。

（単位：百万円）

収入			支出			総合収支	
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額	予算額	決算額
健康保険料	20,158	19,686	保険給付	12,601	11,795		
その他収入	505	479	高齢者医療への拠出金	6,426	6,374		
			その他支出	1,364	1,233		
収入合計	20,663	20,165	支出合計	20,391	19,402	272	763

b. 介護保険

収入は、保険料率の改定などにより約23億円（前年比+6.5%）となり、支出は約22億円（前年比△0.7%）となった。

その結果、総合収支は約1.6億円の黒字となりました。

（単位：百万円）

収入			支出			総合収支	
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額	予算額	決算額
介護保険料	2,304	2,286	介護納付金	2,146	2,157		
その他収入	0	29					
繰入金	0	0					
収入合計	2,304	2,315	支出合計	2,146	2,157	158	158

2. 健康保険組合をめぐる環境

- a. 高齢者医療への拠出金負担過重等で、全健康保険組合（約 1,370 組合）の平均保険料率は年々上昇しています。

【平均保険料率の推移】

2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
8.88%	9.03%	9.11%	9.17%	9.21%	9.22%

- b. 302 組合（占率約 22.1%）が「協会けんぽ（注）」の平均健康保険料率 10%を超えており、2019 年 4 月には 5 つの健康保険組合が解散しております。

（注）健康保険組合を持たない中小企業の従業員が加入する健康保険。会社、本人負担各 5.0%

- c. 後期高齢者医療費に対する支援金である後期高齢者支援金については、2017 年度に全面総報酬割となりましたが、引続きの増加傾向となっております。今後も団塊の世代の高齢化による医療費の増加が見込まれている状況です。
- d. 介護納付金についても 2017 年度より 3 年間に渡って段階的に総報酬割を進めていき、2020 年度には全面総報酬割となるため、納付金が増加する見込みとなっております。

3. 医療費軽減への取り組み

当健康保険組合では、健康保険料率上昇幅の抑制に向けて、今後も加入者と健康保険組合の負担軽減に取り組んでまいります。

2017 年度より会社が運営しております『健康経営』を健康保険組合としても強力に推進し、より一層加入者および、そのご家族の健康維持・増進への取り組みを強化していきたいと考えております。何卒ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

以上